

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

---

# 「新編 新しい書写」 年間指導計画作成資料 【6年】

---

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 新しい書写 六」(第6学年)年間指導計画

| 月   | 単元名<br>学習指導要領との対応<br>他教科との関連   | 単元の目標   | 時数 | 学習活動<br>【書写のかぎ】  | 観点別評価規準   |
|-----|--|---|----|--|---|
| 4   | <p>●おかしなプログラム<br/>●書写の学び方<br/>○学習の準備をしよう</p> <p>・用具の準備/用具のかたづけ方<br/>・書きやすい姿勢と、筆記具の持ち方<br/>・毛筆で書いてみよう<br/>表紙裏～p.9</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(イ)<br/>【用具】毛筆・鉛筆</p> | <p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を理解することができる。</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解することができる。</p> <p>○点画の種類を確認し、書き方に気をつけて書くことができる。</p> | 2  | <p>①1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>②書写の学習の進め方を理解する。</p> <p>③毛筆の用具の置き方・扱い方・かたづけ方を確認する。</p> <p>④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>⑤既習の点画の書き方について確認する。</p> <p>【点画の書き方】「横画」「縦画」「点」「折れ」「左払い」「右払い」「反り」「曲がり」</p> <p>⑥自己評価・相互評価をする。</p> | <p>【知・技】</p> <p>○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方、用具の置き方・扱い方・かたづけ方を理解している。</p> <p>○点画の種類と書き方を確認して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○硬筆での姿勢や持ち方と比べながら、毛筆での姿勢や持ち方を見直している。</p> <p>【主】</p> <p>○1年間の学習を見通し、書写の学習の進め方を知って、積極的に学習に取り組もうとしている。</p> |
| 4・5 | <p>○点画のつながり<br/>〈旅行〉<br/>p.10～11</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(ア)(イ)<br/>【用具】毛筆・鉛筆</p>  | <p>○点画のつながりを理解し、つながりに注意して書くことができる。</p>  | 4  | <p>①点画から点画への動きの特徴を見つける。</p> <p>【書くときの動き】点画のつながり</p> <p>②点画のつながりを確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②のつながりを確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、点画のつながりを硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>   | <p>【知・技】</p> <p>○点画のつながりを理解している。</p> <p>○点画のつながりを意識して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○点画のつながりを、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、点画のつながりに気をつけて、進んで書こうとしている。</p>                          |
| 5・6 | <p>○文字と文字のつながり<br/>〈あられ〉<br/>p.12～13</p> <p>◎ [知識及び技能] (3)エ(ア)(イ)<br/>【用具】毛筆・鉛筆</p>  | <p>○平仮名の文字のつながりを理解し、つながりに注意して書くことができる。</p>  | 3  | <p>①平仮名の文字から文字への動きの特徴を見つける。</p> <p>【書くときの動き】点画のつながり</p> <p>②平仮名の文字のつながりを確認する。</p> <p>③毛筆を使って、②のつながりを確認する。</p> <p>④毛筆の学習を生かして、平仮名の文字のつながりを硬筆に広げる。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>   | <p>【知・技】</p> <p>○平仮名の文字のつながりを理解している。</p> <p>○平仮名の文字のつながりを意識して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○平仮名の文字のつながりを、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、平仮名の文字のつながりに気をつけて、進んで書こうとしている。</p>          |

| 月 | 単元名<br>学習指導要領との対応<br>他教科との関連   | 単元の目標  | 時数 | 学習活動<br>【書写のかぎ】   | 観点別評価規準   |
|---|--|--|----|---|---|
| 7 | ○書く速さ<br>p.14～15<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(ウ)<br>【用具】鉛筆・フェルトペンなど                                     | ○書く速さを使い分け、目的や場面に合わせて適切な速さで書くことを理解することができる。  | 1  | ①目的や場面に合わせた、書く速さの使い分け方を見つける。<br>【書くときの動き】書く速さ<br>②書く速さの使い分け方を確認する。<br>③他の場面での書く速さの使い分け方を考える。<br>④自己評価・相互評価をする。                      | [知・技]<br>○目的や場面に合わせて書く速さを使い分けることを理解している。<br>○書く速さを使い分けて書いている。<br>[思・判・表]<br>○書く速さの使い分け方を、どのように生かすか考えている。<br>[主]<br>○学習したことを生かして書いた文字や書くときの動作を見直し、書く速さに気をつけて、進んで書こうとしている。    |
|   | ◇文字とっしょに<br>・手書き文字のいろいろな書き方<br>p.16  | ○手書きで漢字を書く場合にさまざまな字形があることを理解することができる。        | —  | ①手書きで漢字を書く場合のさまざまな字形について学習する。   | [知・技]<br>○手書きで漢字を書く場合にさまざまな字形があることを理解している。<br>[主]<br>○手書きで書く場合のさまざまな字形に興味を持って、知ろうとしている。   |
| 7 | ▼生活に広げよう<br>・インタビューのメモを取ろう<br>p.17<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(ウ)<br>【用具】鉛筆・フェルトペンなど<br>★他教科との関連：社会、家庭 | ○文字を速く書くための工夫と読みやすい配列を理解し、メモを取る場面で生かすことができる。 | 1  | ①文字を速く書くための工夫を確認する。<br>②既習事項を確認する。<br>③既習事項を生かして、インタビューのメモを取る。<br>④自己評価・相互評価をする。  | [知・技]<br>○文字を速く書くための工夫を理解している。<br>○既習事項を生かして、適切な速さで書いている。<br>[思・判・表]<br>○既習事項をどのように生かすか考えている。<br>[主]<br>○既習事項を生かして、進んでメモを取ろうとしている。  |
| 9 | ○組み立て方<br>(三つの部分)<br>〈湖〉<br>p.18～19<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)<br>【用具】毛筆・鉛筆                        | ○三つの部分の組み立て方を理解し、正しく整えて書くことができる。             | 3  | ①三つの部分の組み立て方を見つける。<br>【字形】組み立て方<br>②三つの部分の組み立て方を確認する。<br>③毛筆を使って、②の組み立て方を確認する。<br>④毛筆の学習を生かして、三つの部分の組み立て方を硬筆に広げる。<br>⑤自己評価・相互評価をする。 | [知・技]<br>○三つの部分の組み立て方を理解している。<br>○三つの部分の組み立て方を正しく整えて書いている。<br>[思・判・表]<br>○三つの部分の組み立て方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。<br>[主]<br>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、三つの部分の組み立て方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |

| 月  | 単元名<br>学習指導要領との対応<br>他教科との関連   | 単元の目標   | 時数 | 学習活動<br>【書写のかぎ】   | 観点別評価規準  |
|----|--|---|----|---|--|
| 10 | ○用紙に合った文字の大きさ<br>〈中秋の名月〉<br>p.20～21<br><br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)<br>【用具】毛筆・鉛筆                                | ○用紙に合った文字の大きさを理解し、正しく整えて書くことができる。             | 3  | ①用紙に合った文字の大きさの整え方を見つける。<br>【配列】文字の大きさ<br>②用紙に合った文字の大きさの整え方を確認する。<br>③毛筆を使って、②の整え方を確認する。<br>④毛筆の学習を生かして、用紙に合った文字の大きさの整え方を硬筆に広げる。<br>⑤自己評価・相互評価をする。 | <b>[知・技]</b><br>○用紙に合った文字の大きさを理解している。<br>○用紙に合った文字の大きさに気をつけて、正しく整えて書いている。<br><b>[思・判・表]</b><br>○用紙に合った文字の大きさの整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。<br><b>[主]</b><br>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、用紙に合った文字の大きさに気をつけて、進んで書こうとしている。 |
| 10 | ○分かりやすく伝える書き方<br>p.22～23<br><br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(ウ)<br>【用具】各種筆記具   | ○情報を分かりやすく伝える書き方を理解して書くことができる。                | 1  | ①情報を分かりやすく伝える書き方を見つける。<br>【配列】文字の大きさ、字間・行間<br>【筆記具・用紙】<br>②情報を分かりやすく伝える書き方を確認する。<br>③情報を分かりやすく伝える書き方に注意して書く。<br>④自己評価・相互評価をする。                    | <b>[知・技]</b><br>○情報を分かりやすく伝える書き方を理解している。<br>○配列や筆記具を工夫して、情報を分かりやすく書いている。<br><b>[思・判・表]</b><br>○情報を分かりやすく伝える書き方を、ほかにどのように生かすか考えている。<br><b>[主]</b><br>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、情報を分かりやすく伝えているか確かめながら、進んで書こうとしている。   |
| 11 | ▼生活に広げよう<br>・発表のためのポスターを書こう<br>p.24～25<br><br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(ウ)<br>【用具】フェルトペンほか<br>★他教科との関連：総合的な学習、英語、社会 | ○読みやすいポスターの書き方と既習事項を理解して、ポスターを書く場面で生かすことができる。 | 3  | ①ポスターの書き方を確認する。<br>②既習事項を確認する。<br>③既習事項を生かして、ポスターを丁寧に書く。<br>④自己評価・相互評価をする。  | <b>[知・技]</b><br>○読みやすいポスターの書き方を理解している。<br>○既習事項を生かして、伝わりやすさを考えて書いている。<br><b>[思・判・表]</b><br>○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>[主]</b><br>○既習事項を生かして、進んでポスターを書こうとしている。  |
|    | ◇文字といっしょに<br>・書いて味わおう（漢詩「春暁」）<br>p.26<br><br>【用具】鉛筆<br>★他教科との関連：国語   | ○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。                       | —  | ①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。  | <b>[知・技]</b><br>○既習事項を理解して、丁寧に書いている。<br><b>[思・判・表]</b><br>○既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>[主]</b><br>○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。   |

| 月             | 単元名<br>学習指導要領との対応<br>他教科との関連   | 単元の目標                               | 時数 | 学習活動<br>【書写のかぎ】  | 観点別評価規準  |
|---------------|--|-------------------------------------|----|--|--|
| 11<br>・<br>12 | ◇文字といっしょに<br>・書き初めをしよう<br>〈希望〉〈夢を語ろう〉<br>p.27～29<br>p.49～52<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)<br>【用具】毛筆           | ○既習の文字の整え方を理解して、書き初めを丁寧に書くことができる。   | 3  | ①既習事項を確認する。<br>②既習事項に気をつけて、書き初めをする。<br>③自己評価・相互評価をする。  | <b>【知・技】</b><br>○既習事項を理解して、丁寧に書いている。<br><b>【思・判・表】</b><br>○既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>【主】</b><br>○既習事項を生かして、進んで書き初めを書こうとしている。  |
| 1             | ○配列(小筆)<br>〈「海のいのち」より〉<br>p.30～31<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)<br>【用具】小筆・鉛筆                                  | ○字間・行間の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。      | 3  | ①字間・行間の整え方を見つける。<br><b>【配列】字間・行間</b><br>②字間・行間の整え方を確認する。<br>③小筆を使って、②の整え方を確認する。<br>④小筆の学習を生かして、字間・行間の整え方を硬筆に広げる。<br>⑤自己評価・相互評価をする。 | <b>【知・技】</b><br>○字間・行間の整え方を理解している。<br>○字間・行間を正しく整えて書いている。<br><b>【思・判・表】</b><br>○字間・行間の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。<br><b>【主】</b><br>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、字間・行間の整え方に気をつけて、進んで書こうとしている。 |
|               | ◇文字といっしょに<br>・書いて味わおう(漢文「論語」)<br>p.32<br>【用具】鉛筆<br>★他教科との関連：国語   | ○既習事項を生かして、丁寧に書くことができる。             | —  | ①既習事項を生かして、我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。   | <b>【知・技】</b><br>○既習事項を理解して、丁寧に書いている。<br><b>【思・判・表】</b><br>○既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>【主】</b><br>○既習事項を生かして、進んで書こうとしている。   |
| 2             | ▼学びを生かそう<br>・六年生のまとめ<br>〈新たな世界〉<br>p.33～35<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)(ウ)<br>【用具】毛筆・フェルトペンほか<br>★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。 | 3  | ①1年間の既習事項を振り返る。<br>②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。<br>③自分の立てためあてに気をつけて、毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。<br>④自己評価・相互評価をする。                                  | <b>【知・技】</b><br>○既習事項を理解している。<br>○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。<br><b>【思・判・表】</b><br>○既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>【主】</b><br>○自分のめあてを持って学習に取り組む、その評価を今後を生かそうとしている。                           |
| 3             | ▼学びを生かそう<br>・書写展覧会を開こう<br>p.36～37<br>◎〔知識及び技能〕(3)<br>エ(ア)(イ)(ウ)<br>【用具】各種筆記具                               | ○6年間に書写で学習してきたことを生かして、作品を書くことができる。  | 2  | ①作品の書き方を考える。<br>②既習事項を確認する。<br>③既習事項を生かして、作品制作をする。<br>④自己評価・相互評価をする。   | <b>【知・技】</b><br>○目的に応じた筆記具や書き方を選択している。<br>○既習事項を理解して、正しく整えて書いている。<br><b>【思・判・表】</b><br>○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。<br><b>【主】</b><br>○今までの学習を生かして、進んで、書写の学習を生かした作品を書こうとしている。         |

| 月 | 単元名<br>学習指導要領との対応<br>他教科との関連                                | 単元の目標                                    | 時数 | 学習活動<br>【書写のかぎ】           | 観点別評価規準  |
|---|---|--|----|---------------------------|--|
|   | ◇文字といっしょに<br>・日本の文字の歴史<br>p.38～39<br><br>★他教科との関連：国<br>語、社会 | ○我が国で使われている文字の歴史を理解し、文字文化への関心を高めることができる。 | —  | ①我が国で使われている文字の歴史について学習する。 | 【主】<br>○我が国で使われている文字の歴史に興味をもって、文字文化への関心を高めようとしている。 |